

※この説明書は必ず施工される方にお渡しください。

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願

●施工現場保全のため、不在時は必ず窓を閉め切ってください。

▲注意

- 漏水・透き間風の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
- ・サッシ本体の本固定前に、必ずガラスの透き間を調整してください。
- ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠の納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
- ガラスが二重になるため、サッシの重量が最大で40kgになります。運搬・取付けの際は、相当する人数で作業を行ってください。

■ねじ一覧表

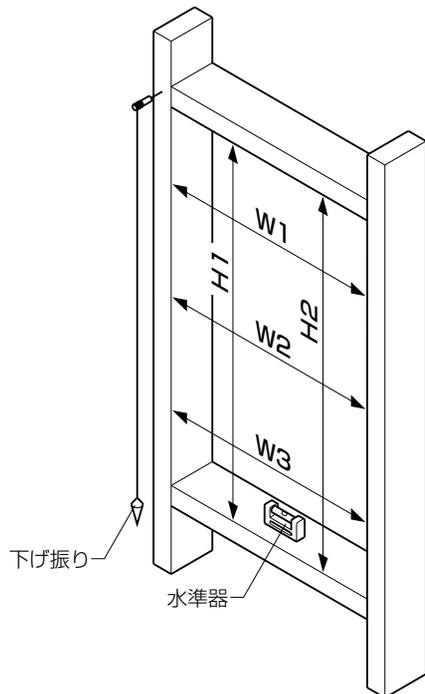
※本文図中の①・②は、ねじの種類を示します。

①	②
	
スクリーウ釘	φ3.5×20皿木ねじ

■取付け順序

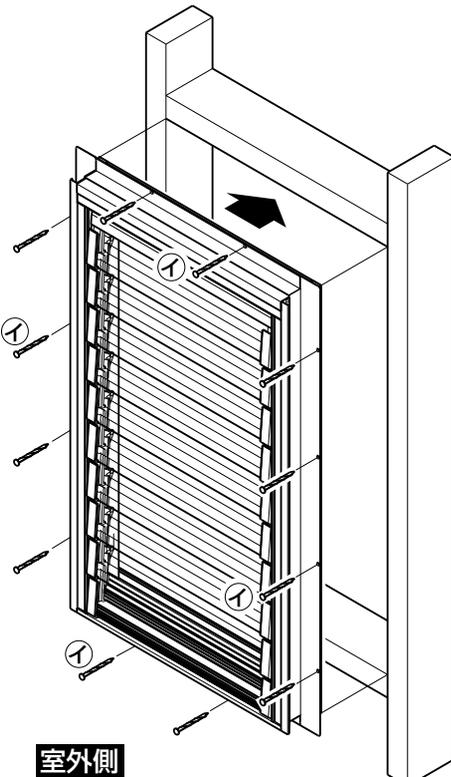
1 開口部の確認

- 開口部の水平・垂直が出ていることを確認してください。
(ルーバー部の開閉に支障がでます。)
- 開口寸法を確認してください。
開口幅 = サッシ基本寸法(W) + 10mm
開口高さ = サッシ基本寸法(H) + 5mm
※サッシ基本寸法はカタログをご覧ください。
- 図の(W1・W2・W3)及び(H1・H2)に差がある場合は、仮固定の際にかい物で調整してください。(ハンドル操作に支障が出ます。)

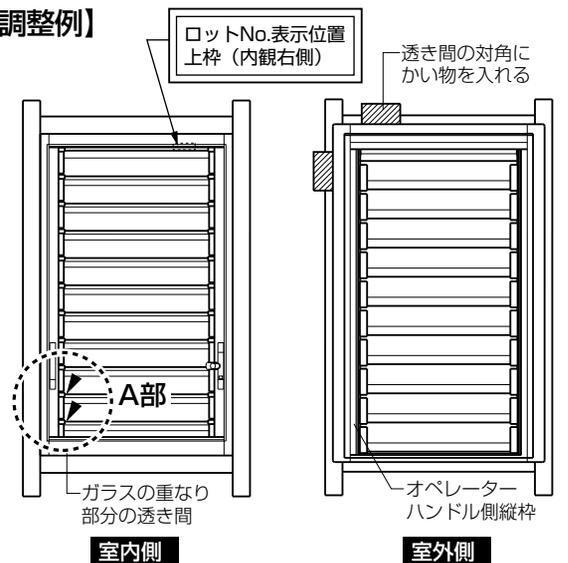


2 サッシ本体の仮固定とガラスの透き間調整

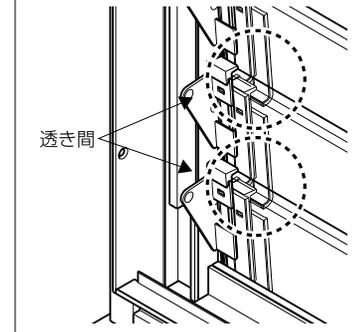
- ① 枠の直角を出しながら仮止めします。
(上下枠左右計4カ所)
- ② 透き間のある場合は、仮止めした①スクリーウ釘をゆるめ、下図のようにかい物を入れる等して屋外から調整してください。
- ③ 残りの①スクリーウ釘を打ち込みます。



【調整例】



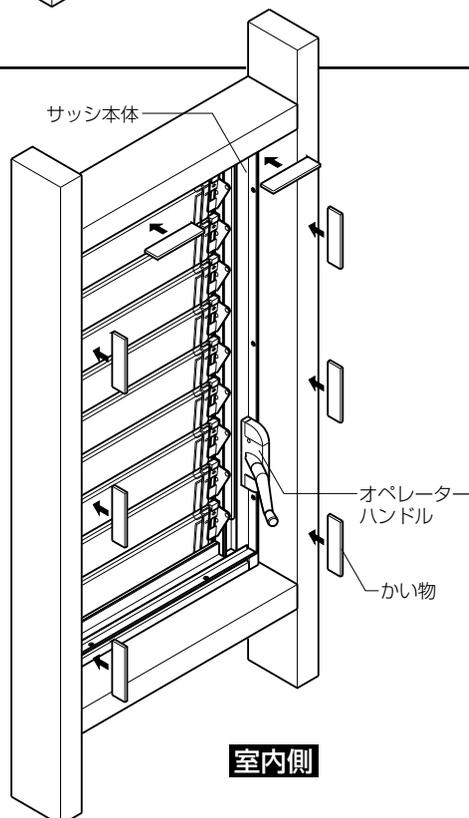
■A部詳細図



▲注意

- 漏水・透き間風の原因になるおそれがありますので、必ずサッシ本体の本固定前に、ガラスに透き間がない(名刺が入らない)よう調整してください。

- ④ 躯体と枠の透き間に室内側からかい物を入れて調整します。



3 サッシ本体の本固定

- 造作材を取り付けた後、室内側から②皿木ねじで本固定します。

■お願い

- 施工現場保全のため、不在時は必ず窓を閉め切ってください。

